

(別紙4(2))

事業所名 グループホームコスモス仲町の家

作成日：令和6年5月20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるなど、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練の際、近隣住民の協力を得て行っていたが、コロナウイルス流行後は、地域の交流が激減し、防災設備会社指導の元、ホーム内で年2回の訓練となっていた。避難が必要だと判断した場合、入居者様が安全に避難出来るよう、コロナ流行前の避難体制に近づける必要がある。	会議や地域の集まり、訪問等で当ホームの入居者様の活動や状況を知っていただき、災害時の協力について説明、お願いを定期的に行う。	R6/4/11(木)避難訓練後、地震・水害時の避難確認を行った。職員2名で桐生西小学校へ行き、避難にかかる時間・危険個所・誘導ルートの確認など気付いた点を職員間で共有した。運営推進会議内で、避難行動に関する協力についてお願いする。あわせて避難時の危険個所についても共有する。	3ヶ月
2	33	重度化した場合や終末期には、嘱託医の協力は得られているものの、それぞれの職域の役割分担が確立していない。	ホームとして医師にゆだねること、ご家族に依頼すること、看護職、管理者、介護職、それぞれの役割について話し合う。	嘱託医2名から、重度化した場合や終末期の対応について、どういった役割分担が理想的なのか助言をいただく。いただいた助言をもとに、施設内会議で役割分担について検討し、ご家族とも意見交換する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。